

令和6年5月10日

大町市長 牛越 徹 様

大町市総合計画審議会

会長 中村 勝彦

大町市第5次総合計画後期基本計画の進行管理について（答申）

令和5年4月25日付けで諮問を受けました大町市第5次総合計画後期基本計画の進行管理を行うため、市が実施した内部評価に基づき、本審議会による評価（外部評価）を実施した結果について、別添のとおり取りまとめましたので答申します。

今後、本審議会に取りまとめた意見について、「大町市第5次総合計画」における基本構想に定める将来像「未来を育む ひとが輝く 信濃おおまち」の実現のため、予算編成等に反映をいただくとともに、現在実施している施策や事務事業の効率性の向上、実施手法の改善など、質の高い行政サービスの提供に向け最善の努力をされるよう要望します。

1. 経緯

大町市総合計画審議会（以下「審議会」という。）は、令和5年4月25日付けで市長から諮問を受けた「大町市第5次総合計画後期基本計画」の進行管理について、3回にわたり審議会を開催し審議を行った。

2. 委員構成

会 長	中村 勝彦	大町市社会福祉協議会
副会長	蜜澤 茂志	大町商工会議所
委 員	小野壽太郎	大北医師会
委 員	中山 晴隆	大町市教育委員会
委 員	鷺澤 恒夫	大町市連合自治会
委 員	中村 茂	大北農業協同組合
委 員	降旗 和幸	大町市観光協会
委 員	長嶋けい子	大町市女性団体連絡協議会
委 員	吉沢 益暢	北アルプス青年会議所
委 員	大厩 一裕	大北地区労働者福祉協議会（2月15日から）
委 員	縣 亮太	大北地区労働者福祉協議会（4月25日まで）
委 員	岑村 修司	識見を有する者
委 員	前川 浩一	識見を有する者
委 員	東木原咲代	公募委員

3. 審議経過

令和5年

4月25日 第1回審議会
第5次総合計画後期基本計画 行政評価

令和6年

2月15日 第2回審議会
第5次総合計画後期基本計画 行政評価

3月18日 第3回審議会
第5次総合計画後期基本計画 行政評価

5月10日 答 申

4. 審議会における意見

市から提出された内部評価票について、各担当課からの説明及び聞き取りにより外部評価を実施し、審議会の意見として以下のとおり取りまとめた。

第1章 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち

第1節 心豊かにたくましく生きる子供の育成

施策目標 5 地域とともにある学校づくり

具体的な施策 郷土を学ぶ体験学習、郷土愛・郷土に誇りを持つ気運の醸成

- ・文科省型コミュニティ・スクールでは、地域住民が学校の運営や方針に係わっている。構成員を含め、地域住民やそれらに関わる教職員など、コミュニティ・スクールの目的や役割について、さらに理解が深まるよう周知をいただきたい。
- ・郷土学習冊子「ふるさと きのう・きょう・あした」やデジタル教材「大町のひ・み・つ」について、どの程度活用がなされているか不明瞭である。具体的に教育に何時間使用され、どの程度の成果が出たのか。といった視点での評価を検討いただきたい。
- ・郷土学習冊子やデジタル教材を利用した学習について、教育委員会として児童に伝えたい教育が、すべての学校において温度差なく実現されるよう指導いただきたい。

第2節 生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供

施策目標 3 多様な分野の学習活動の促進

具体的な施策 山岳文化都市としての情報発信や学習活動の充実と促進

- ・博物館としての位置付けに特化せず、教育、文化、観光、アーカイブといった複合的であることが、山岳博物館の特色として考えていることは理解するが、年度によって、どの事業に力を入れ、投資を集中させるかといった選択により、効率的な投資となるよう検討いただきたい。
- ・ライチョウ飼育について、情報発信が乏しい。国の天然記念物を環境省より借り受け、多くの費用もかかっていることから、来館者数の増加など成果につながる取り組みを進めていただきたい。

第2章 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち

第3節 観光を主体に国内外からひとを呼び込む交流の促進

施策目標1 魅力ある観光地づくりの推進

具体的な施策 観光地としての基盤づくり

- ・費用をかけ自転車路線が整備・維持されていることから、サイクルツーリズムの仕組みを構築や、宣伝広報に努めるなど、観光資源として最大限活用していただきたい。
- ・観光客の誘致による、外から人を集めるといった事業に特化せず、住民サービスや健康増進といった違った視点からの工夫もしていただきたい。

具体的な施策 通年滞在型観光の推進

- ・SDGs 学習旅行については、非常に良い取り組みである。継続した取り組みとなるよう、行政主導ではなく市民が核となり、結果として地域住民にとって利益になる事業として行っていただきたい。
- ・長期滞在型観光を考えるうえで、広域連携による周遊型観光の推進が重要と考える。特に北アルプス地域では、ハクババレーといった位置づけもあり、地域一体とした観光資源であることから、入り口となる大町市において、特色をもって生かせるよう進めていただきたい。
- ・ワーケーション事業については、コワーキングスペースの利用者が減少について、ニーズの変化が要因とも考えられるが、テレワーク以外にも学生の勉強スペースとして開放するなど、多くの市民の方が利用できる複合的施設のようなアイデアも必要と考える。また、開館時間の延長や休日の営業等、利用者のニーズに即した運営について検討いただきたい。

具体的な施策 山岳観光の魅力向上

- ・評価にあたっては、事業の実施により得られた成果に加え、現状ある課題を提起することにより、解決すべき問題を明確にしたうえで、めざす姿の実現に向けた施策となるよう努めていただきたい。

第4節 移住・定住促進策等の充実強化

施策目標1 定住促進ビジョンの推進

具体的な施策 移住の促進

- ・定住促進事業や地域住民との交流事業は、着実に成果を上げている。今後は、人口減少や高齢化による担い手不足の問題解決に向けて、関係人口の創出と拡大といった新たな視点により施策を進めていただきたい。
- ・移住の促進にあたっては、人口分析調査の結果を取り入れ、ターゲットを明確にした情報発信に努めていただきたい。
- ・ペット飼育の希望など、多様なニーズが受け入れられるよう、ハード面の施策についても検討いただきたい。

第4章 豊かな自然を守り快適に生活できるまち

第3節 快適な生活環境の形成観光地としての基盤づくり

施策目標3 豊かな自然・文化と調和した景観の形成

具体的な施策 田園・農村景観等の保全

- ・中山間地域等直接支払事業や多面的機能支払事業について、高齢化や担い手不足が予想されることから、組織の集約化について検討を進めていただきたい。

第5章 市民の参画と協働でつくるまち

第1節 市民の参画・協働と市民の視点に立った姿勢の推進

施策目標2 過疎地域での地域づくりの推進

具体的な施策 過疎重点地域における市民によるまちづくり活動の促進

- ・八坂・美麻地域は、合併以前から過疎地域として実績を積み重ねてきており、活発な活動が評価される。人口減少や高齢化が進む中で、その地域の住民だけでなくもっと広い範囲から人を募るような取り組みを検討いただきたい。

5. まとめ

審議会における意見、提言を市の施策や事務事業の改善、予算編成等へ積極的に反映していただくとともに、提言で終わらせることのないよう市民の視点に立ったより効果的な行政サービスの充実に向け、前進していただきたい。